

G A P 推進講演会開催要領

1 目 的

G A P の取組は環境保全、食品安全や労働安全による農業者のリスクを軽減し、持続的な農業経営に繋がることから、本県における農林産物の生産に係る G A P の取組をさらに推進するため、G A P 推進講演会を開催する。

2 日 時 令和 2 年 2 月 12 日 (水) 午後 1 時 30 分から 4 時 30 分まで

3 会 場 静岡県総合研修所もくせい会館 2 階 第 1 会議室
(静岡市葵区鷹匠 3-6-1)

4 主 催 静岡県、静岡県 G A P 推進協議会

5 参集者 農業者、J A、市町、農業高校、関係機関、県等(約 100 人)

6 内 容

(1) 静岡県立静岡農業高等学校における JGAP の取組 (13:40~14:40)

静岡農業高等学校 教諭 松村錬一氏

静岡農業高等学校 2 年生 代表者

(2) G A P は農業界のイノベーションなのか？

～企業の知恵で G A P 実践の敷居を下げる!?～ (14:50~16:20)

ティーエーディーエー 代表 多田誠氏

7 参加費 無料

8 申込み 別紙 1 を記入し、2 月 7 日 (金) までに静岡県経済産業部農業局
地域農業課に F A X 又はメールで報告

9 参 考

(1) 静岡県立静岡農業高等学校の JGAP 認証取得の取組

静岡農業高校では、「生徒に対して生産者としての自覚を強く持ってもらうこと」を目的として、JGAP 認証取得に向けた取組を始め、生徒が主体となって、農場改善や資料作成を行った。この結果、2019 年 9 月に静岡県内の高校で初めて JGAP 認証 (柑橘、梅) を取得した。

今回、G A P に取り組むことに対する「教育者が感じる効果」と「生徒が感じる効果」について、担当教諭及び生徒から講演をしていただく。

(2) 多田誠氏について

多田誠氏は JGAP 審査員や G H 評価員の資格を有し、全国で JGAP の認証審査や GLOBALG. A. P 認証のコンサルタントなどを行っている。また、企業が実施する I S O 認証取得に関する業務にも携わったことから、G A P 指導ではルールや基準の運用方法・マネジメントについて豊富な知見を有している。

今回、企業が行う改善活動事例から G A P 実践のためのヒントを探ります。